

平成27年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力 「ワーソップ公立小学校改修計画」引渡式

2018年2月27日、山崎大使はトレローニー県のワーソップ公立小学校にて行われた、平成27年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ワーソップ公立小学校改修計画」の引渡式に出席しました。引渡し式にはルエル・リード教育・青少年・情報大臣、マリサ・ダリンプル＝フィリバート下院議員（トレローニー南地区選出）、コリン・ゲージャー同県県庁所在地ファルマス市長、教育省職員、同校関係者や地域住民など約80名が出席しました。

1935年創立の同校の校舎は老朽化が激しく、多くの教室が雨漏りや電気系統の故障、窓の破損問題を抱え、給食室とトイレ棟が閉鎖するなど、適切な教育環境ではありませんでした。避雷針の未設置、平坦でない校庭、水漏れを引き起こす排水溝など校舎外部にも児童の安全を脅かす状態となっていました。これらの校舎等設備を改修したことで、生徒達が適切な環境のもとで勉学に励むことができるようになるだろうと期待されています。また、改修校舎を長く使用するため、校舎劣化の原因の一つとなっていたシロアリの駆除処理も施されました。

コドリング＝スミス校長始め学校関係者は、校舎改修後の同校の学習環境は改修前と比較して快適になっていると述べ、日本政府からの援助に謝意を表しました。また、同校関係者、地域住民で、設備を大切に使い続けていくと力強く宣言しました。

ダリンプル＝フィリバート議員は、トレローニー南地区への日本政府からの援助への喜びと感謝を表し、教育は貧困から抜け出す唯一の鍵だと強調した上で、リード大臣と山崎大使による今後のジャマイカの教育への支援に期待していると述べました。

リード大臣は、本改修計画はワーソップ公立小学校だけではなく、ワーソップ及びその周辺地区全体に裨益するものである、また、日本からジャマイカの学校への支援は、ジャマイカ政府の継続的な「国民への投資」と足並みを揃えていると述べ、日本政府からの援助に謝意を表しました。

山崎大使は、ジャマイカの人々が日常会話で使用するクレオール言語（パトワ語）で挨拶して場を和ませた後、児童の学習環境を向上させる本計画の完了を嬉しく思うと述べました。そして、在ジャマイカ大使として今後も両国の双方の利益のために奉仕すべく、ジャマイカの関係者と協働していきたいと述べました。



ルエル・リード教育・青年・情報大臣



パトワ語を使い、挨拶をする本使



マリサ・ダリンプル=フィリバート議員



歌を披露する児童



記念盾の披露



握手するリード大臣と本使



児童と記念撮影するリード大臣、本使



コドリング＝スミス校長の案内で改修校舎を視察するリード大臣と本使



塗り替え、扉と手すりの付け替えが行われた校舎



改修により給食室が使用できるようになり、視察時は昼食が調理されていました。



天井、電気系統、窓が修理された図書館



視察中のリード大臣と本使に挨拶する児童



天井と電気システムの修理が施された教室



改修により使用可能となったトイレ舎



雨水排水、貯蔵、再利用用のとい、配水管、タンク



排水溝



避雷針



アスファルト整備された校庭